

## 記者発表資料

# 首都直下地震、風水害に対する取り組み ～協定会社・自治体と連携した備え～

国土交通省東京国道事務所、相武国道事務所、荒川下流河川事務所では災害対策用機器を配備しており、災害発生時に速やかな現地での復旧活動が行えるように、国営東京臨海広域防災公園において災害対策用機器の操作訓練を実施します。

今回は、平成26年11月21日に公布・施行された災害対策基本法の一部を改正する法律において、道路管理者が緊急通行車両の通行のために放置車両等の移動が可能となったことをふまえ、フォークリフトを活用した車両移動デモンストレーションを行います。

操作訓練には、国土交通省職員や災害時協定会社<sup>※1</sup>社員のほかに、災害発生時における円滑な連携を目的として、関係自治体の職員も参加します。

### ■ 日時

平成27年6月12日(金) 12:40 ~ 16:40(雨天決行)

### ■ 場所

国営東京臨海広域防災公園(東京都江東区3丁目8番35号)

### ■ 訓練参加予定者

国土交通省職員(30名)

災害時協定会社<sup>※1</sup>社員(87社, 139名)

関係自治体職員(9自治体, 13名) 総勢182名

### ■ 訓練内容及び対象機器

次の災害対策用機器の設置(設営)、操作訓練等を実施します。

①対策本部車(拡幅型), ②待機支援車, ③排水ポンプ車,

④照明車, ⑤Ku-SAT II(衛星小型画像伝送装置)

フォークリフトを活用した車両移動デモンストレーション

### ■ 取材について

当日、12時00分より訓練会場にて受付を行います。

※担当職員による訓練内容や災害対策用機器の説明、一部災害対策用機器内部の撮影等が可能です。

※1:各事務所と「災害応急対策業務に関する協定」を締結している会社。



(平成26年度の訓練状況)

## 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、八王子記者クラブ  
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、川口市記者クラブ

## 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

東京国道事務所

TEL:03-3512-9090(代表)

副所長

にしおふみひろ  
西尾文宏(内204)

施設管理課長

かとうひろし  
加藤浩志(内391)

相武国道事務所

TEL:042-643-2001(代表)

副所長

なかほらこうじ  
中原浩慈(内205)

管理第二課長

みずのひでゆき  
水野秀幸(内441)

荒川下流河川事務所

TEL:03-3902-2311(代表)

副所長

さとうまさる  
佐藤勝(内205)

施設管理課長

なかむらかずお  
中村和夫(内391)

## ■ 災害対策用機器の支援活動状況

### ①対策本部車(拡幅型)



災害現場で情報収集、復旧作業の指揮等を行う車両。  
本部室の床を広げて使用することが可能です。

### ②待機支援車



災害現場における要員の休息・仮眠用の車両。  
長期化した災害に対して後方支援に使用します。

### ③排水ポンプ車



大雨や津波等による浸水時に河川などにポンプ排水する車両。  
発電機と水中ポンプを搭載しています。

### ④照明車



被災現場の夜間照明を確保する車両。  
発電機とクレーン先端に強力な照明灯を搭載しており、被災現場を広い範囲で明るく照らし、夜間でも復旧作業や状態監視を行うことが可能です。

### ⑤衛星通信車

### ⑥衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT II)



災害時における通信手段を支援する車両(装置)。

人工衛星を利用して、災害発生直後の通信不能な災害現場においても状況映像を対策本部に送ることが出来ます。

### ⑦車両移動機材 (フォークリフト、アタッチメント)



災害時の道路啓開における車両移動を行う機材(装置)。

フォークに車両移動用アタッチメントを取り付け、当該アタッチメントを車両前輪に固定して、迅速に車両の移動ができます。



～～ 災害対策用機器操作訓練会場案内図 ～～

会場：国営東京臨海広域防災公園（東京都江東区有明3丁目8番35号）

○ 会場位置図



住所 東京都江東区有明3丁目8番35号  
 最寄駅 ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分  
 りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分

公園敷地内には一般駐車場はありません。  
 公共交通機関、又は近隣の駐車場をご利用下さい。



○ 会場詳細図

